

心からのご寄付を ありがとうございました

10月26日～11月19日

| | | |
|---------------------|----|------------|
| 村上順子 | 現金 | 3,240円 |
| 日本信販株式会社 | 現金 | 1,000,000円 |
| 一宮ライオンズクラブ | 現金 | 219,050円 |
| 岩村進次後援会 | 現金 | 487,409円 |
| 三友堂病院看護専門学校 | 現金 | 5,000円 |
| 大利根中学校 | 現金 | 8,915円 |
| 栗原やす子 | 切手 | 9,000円 |
| 杉山由美子 | 現金 | 4,700円 |
| イイザワユウゾウ | 現金 | 2,000円 |
| 10月25日天理友志会 | 現金 | 1,500円 |
| 花田学園 | 現金 | 40,000円 |
| 海部・津島はなみずき会 | 現金 | 30,000円 |
| 植本るみ子 | 現金 | 9,700円 |
| ボワソ六三郎 代表取締役 小浪幸子 譚 | 現金 | 100,000円 |
| 赤坂離宮 代表取締役 譚彦彬 | 現金 | 100,000円 |
| ●佐藤さち子患者支援基金 | | |
| 切明 咲 | 現金 | 20,000円 |
| いわき骨髄バンクを支援する会 | 現金 | 1,000,000円 |
| ●白血病患者支援基金 | | |
| 美濃加茂あじさいライオンズクラブ | 現金 | 56,627円 |
| 可児東ライオンズクラブ | 現金 | 39,130円 |

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
ざくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

台湾地震の 義援金を贈呈

全国協議会では、9月21日に台湾中部を襲った大きな被害をもたらした大地震の義援金を募っていますが、その第1回目として30万円を、10月29日に慈濟会日本分会を代表して全国協議会事務局を訪れた山本優美子さんに贈呈しました。

全国協議会は台湾地震義援金を今年いっぱい募集しております。皆さんの善意をお寄せください。

義援金の送付先
・郵便振替で左記口座にお送りください。
口座番号：00150415754
口座名義：全国骨髄バンク推進連絡協議会
※通信欄に必ず「台湾地震」とお書きください。



慈濟会日本分会の山本優美子さんに義援金を贈呈する野村委員長

緊急コーディネイトとその問題点 臨界事故と骨髄バンク

9月30日に茨城県東海村の核燃料施設で起きた臨界事故では、放射線被曝者は数十人にのぼりました。とりわけ、事故現場にいた3人の作業員は大量の放射線を浴び、緊急被曝で造血機能障害となり、そのうち2人はすでに造血細胞移植が必要な状態となりました。

このため、1人は東大病院で血縁者からの末梢血幹細胞移植を、もう1人は血縁者にHLA適合ドナーがないため東大医科病院で臍帯血移植が行われました。

臍帯血移植を受けた被曝者については、移植経過を見守るとともに、次の治療として骨髄移植を視野に入れ、骨髄バンクでのドナーコーディネイトを

開始する患者登録をしたと浅野茂隆東大医科病院院長が明らかにしました。

一方、骨髄移植推進財団は10月18日になり、この被曝者に対しての緊急コーディネイトを行うことを明らかにしました。そこでは、現在平均して7カ月を要しているコーディネイト期間を数日で行うとしています。

もともと骨髄バンクはこうした放射線事故に対処するために生まれたものでなく、またコーディネイト期間の短縮は骨髄バンク関係者の間ではずっと指摘され続けてきました。骨髄バンクに登録している患者さんは、その大半がコーディネイトを急ぎ早期に骨髄移植を希望しています。また、骨髄バンクの根本理念は「公平性」「公共性」

「広域性」です。しかし、今回の臨界事故ではその理念はずれ、被曝者のコーディネイト優先ということになりました。別の見方では、はからずも事故によって緊急コーディネイトの道が拓かれたことになり、政府の原子力政策を推進するためには、どうしても死者を出しては行けない、という意図がうかがえます。

さらに、政府は今年度第二次補正予算案に骨髄バンクのコンピュータ整備のために6億円を計上しました。これにより、移植までの期間を短縮迅速化するシステムの構築が促進されることにつながることを期待したいと思えます。

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
ざくら銀行 新宿支店
普通 5666655

全国協議会加盟は46団体に

血液疾患患者家族会「つばさの会」代表 土居優子
みなさんはじめまして！
全国協議会の加盟に少々迷っていた「つばさの会」です。9月18日・19日全国キャラバンVゴール、そして全国代表者会議と参加させて頂き、その迷いは一度にふっとんでしまいました。みなさんの仲間入りさせて頂いたたく決意をしたのは、山口の代表猶さんの強い勧めもありましたが、協議会の加盟団体には、患者さんたちのグループもたくさんあり、周りからとても大切にされていることを実感できたからです。また、参加者のひとつひとつの意見が尊重され民主的に運営されていることも強く感じました。

私たち「つばさの会」は血液疾患患者家族の会です。

患者家族の一番の願いである生命をすくう運動と患者家族を支援する活動を、心の通じ合う者同志が明るく、たくしく、おおらかに活動が続いています。

これからは、全国の仲間のみならず手をたすきながら活動できることを大変強く思っています。

パワーあふれる「つばさの会」をどうぞよろしくお願いたします。

連絡先：〒739-0044
東広島市西条町下見365-117
TEL：0824-2316262
(FAX兼用)

函館骨髄バンク推進協議会
会長 久保郁英



会長 久保郁英

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●患者負担の「ドナー保険料」を大幅値下げ
「骨髄バンク・ドナー団体傷害保険」の内容が12月1日に改定されます。改定のポイントは、1) 保険料の大幅値下げ(14万1000円から2万5000円へ11万6000円値下げ) 2) 提供前の健康診断や自己血採血についても補償対象とする 3) 提供後の健康診断やDLT(ドナーリンパ球輸注。近日、開始予定)も補償対象とする 4) 入院や通院に対する補償を増額(1日あたりの入院補償が5000円から1万円へ。通院補償が3000円から5000円に)——の4点です。

●迅速化のためシステムに補正予算6億円を要求
厚生省は、当財団のコンピュータシステム整備などのため、今年度第2次補正予算案に6億円を計上し要求を行っています。患者登録から採取移植までのコーディネートの流れを全体的に統括するシステムとソフトの開発を行って、移植までの時間を迅速化するという当財団の構想に沿ったものです。

●10月の採取件数は67件を記録
10月の採取・移植件数は67件となり、月間最多件数を更新しました。これまでの56件(99年・6・7月)、55件(98年10月)を大きく上回りました。99年の1～10月実績は475件で、前年同期(376件)に比べると

骨髄バンクNOW

25%以上の増加となっています。この傾向が続くと、99年の実績は550件を超えることになりそうです(前年は453件)。

●患者さん(家族)が自分でHLA検索できます
この度、HLA型が一致するドナー候補者の有無をインターネットで調べることができる「HLA型照合サービス」を開始しました。無料でどなたでもご利用いただけます。治療方針を検討する上で有効に活用いただきたいと思えます。ホームページのURLは <http://www.jmdp.or.jp/pl/>

●キャンペーン登録会10月も活発
10月の「骨髄ドナー・キャンペーン登録会」は11回開催されました。登録者数は合計327名で、10月のドナー登録者数(1497名)に占める割合は21.8%でした。

●日本骨髄バンクの現状(1999年10月末現在)

| | 10月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 1,497 | 124,452 | 141,883 |
| 患者登録者数 | 134 | 1,804 | 8,452 |
| 骨髄移植例数 | 67 | — | 2,304 |

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

リゲインがあるじゃないか。

黄色と黒のチカラ。
肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

J-リゲイン

●大人1日1回1本、J-リゲイン 100ml・194円
価格はメーカー希望小売価格(本体価格)

健康志向のあなのために、海の恵り物

アロイダンU

1ケース(50ml×30本)単位で発売しております。
*特許出願中

＜お問い合わせ＞
宝バイオヘルスケア株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:0120-810-771
*一部酒販店先店においても販売しております。
＜発売元＞
宝通株式会社バイオ事業部門
TEL:077-543-7208

健康志向のあなのために、海の恵り物

アロイダンU

1ケース(50ml×30本)単位で発売しております。
*特許出願中

＜お問い合わせ＞
宝バイオヘルスケア株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:0120-810-771
*一部酒販店先店においても販売しております。
＜発売元＞
宝通株式会社バイオ事業部門
TEL:077-543-7208

本気で考えるなら

この一本。

☆全国協議会 代表者会議
日時：12月19日(日) 9:00～15:00
場所：広島県立生涯学習センターホール

☆骨髄バンク推進全国大会 '99 in 広島
日時：12月18日(土) 15:00～18:00
場所：中国新聞ホール・大ホール

主催：(財)骨髄移植推進財団
テーマ：ありがとうドナーさん、ありがとう患者さん

事務局：〒040-0064
函館市大手町5-1-0
ニチロビル211
TEL：0138-2665558
FAX：0138-2668234

ものドナー登録を獲得することができました。
この実績は、函館市内における過去1年間の登録数に匹敵するものでした。その後、全国キャラバンにも参加させて頂いたばかり、函館市長への表敬訪問等、活動実績を重ねて参りました。

「一人でも多くの患者さんの力になつてあげたい！一人でも多くの市民の皆さんに理解を深めていただきたい！」
私達は、努力を惜しまず、頑張つて参ります。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

事務局長 藤田 孝一

舞台「友情」

白血病のクラスメイトに何がしてあげられるのか? アメリカの少年・少女たちがクラスメイトに示した友情の物語が映画でも制作され話題を呼びましたが、演劇でも上演されることになりました。舞台「友情」は平成11年11月11日(木)〜平成12年2月22日、シアターVあさか(地下鉄千代田線赤坂駅下車徒歩3分)で行われます。チケット(大人¥5,000のところ骨髄バンクボランティア価格¥4,200、高校生以下¥1,800) お問い合わせは「愛のチャリティ劇場」実行委員会事務局 TEL03-3588-0896まで

遺伝子診断と治療の市民フォーラム

去る10月6日有楽町朝日ホールにおいて「遺伝子診断と治療の今—21世紀の主役になれるか?—と題した市民フォーラムが開催されました。「遺伝子診断って何がわかるか?」というテーマで、近畿大学原子力研究所教授の武部啓生氏が英国王室の遺伝の例をあげながら講演されました。現在では多くの疾患の原因が遺伝子レベルで判っており、出生前診断等臨床の場においてもごく普通に行われてきており、クローン羊からクローン人間へと話が及び倫理面の問題提起をされました。

引き続き、昨年日本で初めて腎がんの患者さんに遺伝子治療を行った東京大学医学部研究所病態薬理研究部助教授谷憲三朗先生が「遺伝子治療—現実化への道のり」と題し現状を報告されました。

第8回 ピアノ三重奏の夕べ

すっかり恒例となったサンクトフィリアン三重奏団によるピアノ三重奏の夕べが、11月8日の福島をかわりに、千葉・東京・埼玉で開かれました。

9日の千葉では、柏市のアミューゼ柏という今年になって出来た新しいガラス張りの建物で、その名も「クリスタルホール」という、「音響効果パツゲン、ピアノも最高」と三戸さんにお



ほめの言葉を頂いたほどの会場でした。おまけにこの会場を市の方から手配して下さったおかげで、会場費無料で行うことが出来ました。この素晴らしい会場の140名程のお客様に、素晴らしい演奏をどうもありがとうございました。(木村紀)

各地のよりの各々

ボストンで あやちゃん展



遺伝子治療とは薬としての遺伝子を特定の細胞に分類し、発現させることでその細胞の機能を変える治療のことであり、これまでに世界中で3000人以上の臨床研究が実施され、3000人以上の患者さんに施されました。その8割以上が癌患者であり、血液疾患の本質に迫る治療法に成りうるであろうと語られました。

パネルディスカッションでは、遺伝子診断と治療は限らない可能性と明るい未来が約束されているが、それは同時に多くの問題を孕んでいます。本来多様性のある人間社会に差別を助長することになるのでは、という倫理的な恐れであり、人間の尊重という医療に携わるものだけでなく、広く一般市民の理解が求められることが提言されていました。(村上順子)

ボストンであやちゃんの贈り物展をするの準備期間中、美しく額装されたあやちゃんの絵を毎日眺める事になりました。改めて、多くの事に気がつきました。それらを全部まとめて、「優しさ」と名づけました。あやちゃんの描いた、ありさん、動物さん、果物さん、野菜さん、可愛い女の子、そして天使達にしても、目が一つでも優しいのです。あやちゃんのお姉さんの名前が優しい子、優子ちゃんだということにも気がつきました。こんな、優しい目を描けるあやちゃんは、短い一生の間にお父さん、お母さん、そしてお姉ちゃんの愛情と優しさを、真つ向に受けて生き抜いたのです。

展示と同時に進行で行った一斉登録に一人でも多くの方に来ていただきたく、ボストン日本人会の力を借り、あらゆる機関に呼びかけました。日本人会の鈴木美奈さんや、中国人のボランティアと走り回りイベントの紹介をする間にも何度、素晴らしい出会いに恵まれたでしょう。訪問の度に、うるんだ目と暖かい握手を頂きました。

NMDPのリクルート団体として二ユイイングランドでのドナー登録活動を始められたことになったあやちゃん展の為に、日本からも応援団が駆けつけてくれました。海部会長がライフワークだとおっしゃるバンク活動を、こちらの日本人に彼女自身の声で知らせていただきました。三瓶優子さん、孕石ひろこさん、野村さん、三田村さん、そしてNYの有志朝子さん。心が一つになったイベントでした。登録

各地のたよりを写真を添えてお寄せください。

して下さった45人の優しさが私達の次のドライブインへの原動力となるのだと確信しています。皆さんのご支援、どうもありがとうございました。(陸子ホリマン)

郡山 ハートフル休日登録

10月2日(土)、毎年恒例のハートフルサタデー献血運動を、今年は10年目の記念ということで、天候に左右されない屋内会場にバス5台を入場させ献血を行いました。骨髄バンクの登録も隣接する会場と一緒にいたしました。献血後に登録という呼び込みもあつたか、午前中の申し込みが予想よりも少なく多少の不安も感じました。しかし「今日は土曜日、午後からが勝負」という意気込みが通じたのか、午後から右上がりに登録者が伸び続け、第一目標だった75名を突破、終了間際には献血運動のスタッフも駆け付け協力しました。各種思惑から今回は目標を高く掲げての休日登録でしたが、念願の登録「三ヶタ」達成に胸を撫で下ろしています。(坂本)

茨城 患者同士の結婚式

いばらきの会事務局局長、山崎さんと晃子さんの結婚式が11月13日、めでたく行われました。共に骨髄バンクを介して移植を受け、健康を回復されたお二人の結婚は私たちがボランティアにとり、これ以上の喜びはなく、その感激・感動は口では語り尽くせないほどです。この喜びを全国の仲間たちと分かち合うとともに、お二人に一番目のいのちを与えて下さった二人のドナーさんに心より感謝いたします。

お仲人はご存知関口隆・貴子ご夫妻で、静かに温かく語る隆さんの挨拶は実に心こもった胸を打つもので、お二人の門出を祝福する最高のスピーチとなりました。翌日のマスコミ各紙にも大きく報道され、明るいビッグニュースとしてPRしていただきましたこと心より感謝いたします。移植によって病気を克服し、結婚されたお二人の姿は他の多くの患者さんにも大いに勇気を与えることができたのではないのでしょうか。(牛島)

たが、財団法人山崎氏や、白須さん(東京の会)、三瓶ファミリーの懸命の呼びかけにより、献血58名、骨髄バンク登録18名の結果でした。

骨髄バンク登録者は18名と、さほど多くはありませんでしたが、大学祭での一斉登録は始めて、献血と同時に骨髄バンク登録は十分に可能であることが証明されました。

合わせて開催された「あやちゃんの贈り物展」には、30、31日と両日合わせて600名ほどが訪れ、そのうちの何名かの方は実際に骨髄バンクへの登録も行いました。私たちの今後の取り組みに大きな示唆を与えた一日でした。(三瓶)

神奈川 東海大学でフリーマーケット

10月31日(日)、東海大学病院の骨髄移植体験者の会「TOMORROW」が、東海大学の学園祭に「フリーマーケット」を出店しました。当日は晴天に恵まれ、医局で集めていただいた品物が良かったのか、(一部買っ叩かれていましたが)なかなかの盛況ぶりでした。

お客さん(特に体育系の学生さん)には、積極的に「チャンス」や「ギフトオブライフ」渡して骨髄バンクをアピール。道行く人にも声をかけて「患者負担金保険適用署名」もお願いしました。

た。実行委員会を作り、半年後の10月31日(日)に、私たちの会としては初めての試みとなるレクリエーションを通しての普及・啓発活動、「親子ウォークラリー」を行いました。

前日までの天気予報によれば日曜日は晴れだったのですが、天気予報は外れあいにくの曇りとなってしまいました。この天気のせい、残念ながら7組のキャンセルがあり、14組47名で「親子ウォークラリー」を行いました。幸い、雨にはならず無事終了することができました。7組のキャンセルは残念でしたが、その方たちにも「チャンス」を送り、読んでいただく機会を与えていただけたと考えています。

参加していただいた14組のご家族に楽しんでいただけたかどうか心配のところもありましたが、表彰式では盛り上がりも見られ、競技中はお子さんが見生懸命も地元で、競技中はお子さんが見られ、少し胸をなででおろしています。また、骨髄バンククイズでは正解率が大変高く、骨髄バンクについて理解を得られたのではないかと感じます。

今後市民の皆さんと交流を深めながら普及・啓発に努めることが大切と改めて思いました。

今回のイベントをひとつの反省材料として今後の普及・啓発活動につなげていきたいと思います。(新井清)

大阪 中学校で講演会

10月30日、大阪府堺市立三原台中学校に於いて「生命の大切さ」というテーマで講演会が開かれました。この中学校に通う1年生の女の子が白血病で、現在も治療を続けながら通学していることもあり、病状や骨髄バンクの事について理解を深めてもらうという事で開かれたのです。

女優の東ちづるさんが忙しいスケジュールの中やととれたお休みを返上して出演して下さい、おかげでたくさんの方が集まって下さいました。途中、会場にいられたいた権本和浩さんをステージに呼びだして、移植を受けて元気になった元患者さんという事で紹介するという嬉しいハプニングもあり、一時間はあっという間に過ぎってしまいました。この講演会のきっかけになった女の子もとても喜んでくれ、講演会は大成功に終わりました。これをきっかけに、家庭の中で「生命の大切さ」について話し合う場が

栃木 親子ウォークラリー

今年の五月の初夏を思わせるような日曜日に準備の第一歩が始まりました。

山口 3回目のあやちゃん展

10月30・31日と山口県下で最大の建物「モル周南」であやちゃんの贈り物展を開催致しました。2日間総計で約2000人の人に見てもらえたと思えます。アンケート回答数は202枚、新ハガキを1500枚配布しました。設置場所が海の広場、人の波が拡散するので、絵画の方へ誘導するため声が枯れ風邪をひきました。

この前の台風で冠水した空港が有る宇部、そして岩国に続き、この催し物では県内3番目の開催地です。回数が増すことに感謝が深まります。この後、年内3カ所巡回します。

今回は、登録と同時に開催だったと切実に思いました。確実に登録に結びつくと思えます。ペビーカーを押す若い母親が当たり前のよう登録の質問をしていく姿がこれからは示唆するかのように見えました。(下村映子)

100%あなたの心の味方です。

心のやすらぎを求めるすべてのひとに...
あたたかい心の宅配便、メンタルデリバリーサービスは、
前向きに力強く生きていくための
100%あなたの心の味方...話し相手です。

メンタルケア協会の「精神対話士」

当協会が派遣いたします「精神対話士」は、メンタルケアのスペシャリスト養成講座を修了し、厳正なる選考を経て協会に登録された、心のケアに関する専門職です。登録後も定期的なフォローアップを受けており、守秘義務については万全を期しております。

派遣の方法

- ご希望の場所にお伺いし、まごころを込めて対話いたします。
- 料金25,000円(税込)
(原則として週1回80分×4回)

※メンタルケアのスペシャリスト養成講座(札幌・東京・大阪・福岡)の受講についてもご案内中です。

●お問い合わせは...
メンタルケア協会
(会長 医学博士 市橋保雄、元慶應義塾大学病院長)
デリバリー事業部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-6-1 原宿/レフランス549
Tel.03-3405-7270 Fax.03-3405-8580
http://www.ntti-net.ne.jp/mca E-mail:mca@sepia.ocn.ne.jp

